

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

No. 10020010

政策目標	4	【快適感を満たす環境のまち・雄武】～生活環境・生活基盤の充実～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ◇公園施設等維持管理 10施設／年 ・公園等施設管理委託 ・旭日公園他4施設管理委託 ・旭日公園管理棟他管理委託 ・宮の森公園休憩施設管理委託
基本施策	16	住環境の整備	事 業 優 先 度		B	
単位施策	3	都市計画・公園・緑地整備の推進	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	公園維持管理事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和4年度		担 当 課	10	建設水道課	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	公園等施設数				#N/A	
事業目標	10施設／年		ハート／ソフト 事業区分	1	ハード事業	
町民参加	無		関 係 例 規 ・ 法 令 名	無		
町民協働	無		関 係 個 別 計 画 名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 30 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容
計 画 内 容	◇公園施設等維持管理 10施設／年 ・公園等施設管理委託 ・旭日公園他4施設管理委託 ・旭日公園管理棟他管理委託 ・宮の森公園休憩施設管理委託	◇公園施設等維持管理 10施設／年 ・公園等施設管理委託 ・旭日公園他4施設管理委託 ・旭日公園管理棟他管理委託 ・宮の森公園休憩施設管理委託	◇公園施設等維持管理 10施設／年 ・公園等施設管理委託 ・旭日公園他4施設管理委託 ・旭日公園管理棟他管理委託 ・宮の森公園休憩施設管理委託	◇公園施設等維持管理 10施設／年 ・公園等施設管理委託 ・旭日公園他4施設管理委託 ・旭日公園管理棟他管理委託 ・宮の森公園休憩施設管理委託	◇公園施設等維持管理 10施設／年 ・公園等施設管理委託 ・旭日公園他4施設管理委託 ・旭日公園管理棟他管理委託 ・宮の森公園休憩施設管理委託	◇公園施設等維持管理 10施設／年 ・公園等施設管理委託 ・旭日公園他4施設管理委託 ・旭日公園管理棟他管理委託 ・宮の森公園休憩施設管理委託
	事業費(千円)	50,050	8,650	10,350	10,350	10,350
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	50,050	8,650	10,350	10,350	10,350	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	17,039	8,275	8,764	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	17,039	8,275	8,764			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) ◇公園施設等維持管理 10施設／年 ・公園等施設管理委託 ・旭日公園他4施設管理委託 ・旭日公園管理棟他管理委託 ・宮の森公園休憩施設管理委託	(実施内容等) ◇公園施設等維持管理 10施設／年 ・公園等施設管理委託 ・旭日公園他4施設管理委託 ・旭日公園管理棟他管理委託 ・宮の森公園休憩施設管理委託	(実施内容等)	(実施内容等)
		【評価・実績】				
			※事務事業評価結果 A-継続／現状維持	※事務事業評価結果 A-継続／現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	10施設	10施設	10施設	10施設
		年度達成率	96%	85%	0%	0%
	後期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	17%	34%	34%	34%
	備考欄					

事業名	公園維持管理事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	建設水道課長補佐	永井 栄次

令和元年度実施
令和2年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	公園等の利用者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	公園等施設数								
抱える課題やニーズ	公園環境の悪化	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか(意図)	公園等の利用者が安全快適に利用できる公園施設を目指す。	① 公園等施設数/維持管理公園数の実績	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>10施設</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>10施設</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	10施設	実績値	10施設	達成度	100.0%
目標年度	令和元年度										
目標値	10施設										
実績値	10施設										
達成度	100.0%										
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	公園等の利用者が楽しく安心して快適に利用できる公園施設	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td></td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値		実績値		達成度	
目標年度	令和元年度										
目標値											
実績値											
達成度											
内容(どのような手段で何を行ったか)	民間業者による委託の実施	民間業者の入札・見積合せにより、公園等の草刈、清掃を委託した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	公園等の利用者が安全快適に利用してもらうためには、草刈、清掃の実施は欠くことのできないものであり、町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、公園等利用者の安全快適な環境の確保が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	他所管施設との一括発注により、時間短縮・作業軽減したことは効率的であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	誰もが安全快適に利用できるよう定期的な維持管理を行ったことは、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
公園等利用者の憩いの場として安全で楽しく快適に利用してもらうため、また、豊かな緑地が存在する公園等を保全するためにも必要不可欠であり、今後も計画通り事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
公園等の利用者が安全で楽しく快適に利用してもらうため、また、公園等の緑地を保全するためにも現状維持が適当である。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

No. 10020020

政策目標	4	【快適感を満たす環境のまち・雄武】～生活環境・生活基盤の充実～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ・各施設遊具修繕:58基 ・各施設遊具等点検委託:遊具48基、全体281基(5年/回)
基本施策	16	住環境の整備	事 業 優 先 度		B	
単位施策	3	都市計画・公園・緑地整備の推進	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	公園等施設遊具修繕事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和4年度		担 当 課	10	建設水道課	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	修繕遊具数				#N/A	
事業目標	33基		ハード/ソフト 事業区分	1	ハード事業	
町民参加	無		関係例規・法令名	無		
町民協働	無		関係個別計画名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 30 年度 事 業 内 容	令和 元 年 度 事 業 内 容	令和 2 年 度 事 業 内 容	令和 3 年 度 事 業 内 容	令和 4 年 度 事 業 内 容	
計 画 内 容	・各施設遊具修繕:33基 ・各施設遊具等点検委託 :遊具48基、全体281基(5年/回)	・各施設遊具修繕 ・各施設遊具等点検委託	・各施設遊具修繕 ・各施設遊具等点検委託	・各施設遊具修繕 ・各施設遊具等点検委託	・各施設遊具修繕 ・各施設遊具等点検委託	・各施設遊具修繕 ・各施設遊具等点検委託	
	事業費(千円)	9,000	1,800	1,700	2,500	1,500	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	9,000	1,800	1,700	2,500	1,500		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	3,240	1,663	1,577	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	3,240	1,663	1,577				
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) ・各施設遊具修繕 9基 ・各施設遊具等点検委託 47基	(実施内容等) ・各施設遊具修繕 3基 ・各施設遊具等点検委託 48基	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】						
	※事務事業評価結果		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	A-継続/現状維持		A-継続/現状維持				
	第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	9基	3基	11基	5基	5基
	後期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	92%	93%	0%	0%	0%
	全体達成率	18%	36%	36%	36%	36%	
	備考欄						

事業名	公園等施設遊具修繕事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	建設水道課長補佐	永井 栄次

令和元年度実施
令和2年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	公園等の利用者、施設遊具	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	修繕遊具数
抱える課題やニーズ	遊具利用者の事故	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
どのような状態になることを目指したのか(意図)	公園等の利用者が安全に利用できる公園施設を目指す。	① 修繕遊具数/修繕遊具数の実績	目標年度 令和元年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	公園等の施設遊具への安全対策		目標値 3基
			実績値 3基
			達成度 100.0%
		②	目標年度 令和元年度
			目標値
			実績値
			達成度
内容(どのような手段で何を行ったか)	民間業者による工事・点検委託の実施	(社)日本公園施設業協会認定業者の見積合わせにより、工事・点検委託を発注し公園遊具の修繕・点検を実施した。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	公園等の利用者に安心して利用してもらうためには、遊具の修繕・点検等は欠くことのできないものであり、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、公園等利用者の安全な利用が図られた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	遊具施設の修繕・点検等、維持管理を行っていくことにより、安全性を確保し、かつ施設の延命を図っていくことは、効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	誰もが安全に利用できるよう遊具の修繕・点検を行ったことは、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
公園等利用者の憩いの場として安全で楽しく利用してもらうためには、遊具の修繕・点検は必要不可欠であり、今後も計画通り事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
公園等の利用者が安全で楽しく利用してもらうためには、現状維持が適当である。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

No. 10020030

政策目標	4	【快適感を満たす環境のまち・雄武】～生活環境・生活基盤の充実～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ・都市公園整備(宮の森、旭日、稲荷、中央、末広児童) ・雄武町都市公園長寿命化計画策定委託(見直し)
基本施策	16	住環境の整備	事 業 優 先 度	B		
単位施策	3	都市計画・公園・緑地整備の推進	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	都市公園整備事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和4年度		担 当 課	10	建設水道課	
事業主体	雄武町		関 係 課	#N/A		
事業指標	都市公園数			#N/A		
事業目標	5箇所		ハート/ソフト 事業区分	1	ハード事業	
町民参加	無		関 係 例 規 ・ 法 令 名	無		
町民協働	無		関 係 個 別 計 画 名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 30 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容		
計 画 内 容		・都市公園整備(宮の森、旭日、稲荷、中央、末広児童) ・雄武町都市公園長寿命化計画策定委託(見直し)	・都市公園整備 宮の森公園施設整備 稲荷公園施設整備 旭日公園施設整備	・都市公園整備 宮の森公園施設整備 末広児童公園施設整備	・都市公園整備 宮の森公園施設整備 稲荷公園施設整備 旭日公園施設整備 ・雄武町都市公園 長寿命化計画策定委託(見直し) (補助)	・都市公園整備 旭日公園施設整備 ※R3度以降は、長寿命化計画策定後、ローリングとする。		
	事業費(千円)	43,106	19,676	9,100	11,430	2,900		
計 画 事 業 費	財源内訳							
	国庫支出金	12,843	9,343		3,500			
	道支出金	0						
	地方債	8,400	8,400					
	その他	0						
一般財源	21,863	1,933	9,100	7,930	2,900			
実 績 事 業 費	事業費(千円)	28,154	19,429	8,725	0	0		
	財源内訳							
	国庫支出金	9,272	9,272					
	道支出金	0						
	地方債	8,300	8,300					
その他	0							
一般財源	10,582	1,857	8,725					
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)		
	・社会資本整備総合交付金1/2	【評 価 ・ 実 績】	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)		
	・地方債		・都市公園整備 宮の森公園施設整備 稲荷公園施設整備 旭日公園施設整備	・都市公園整備 宮の森公園施設整備 末広児童公園施設整備				
	・基幹事業		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	・公共事業等債90%		第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 年度達成率 99%	都市公園数3箇所	都市公園数2箇所	都市公園数3箇所	都市公園数1箇所
	・一般単独事業債	後期計画への継続 (継続有り)	全体達成率 45%	都市公園数3箇所	都市公園数2箇所	都市公園数3箇所	都市公園数1箇所	都市公園数0箇所
	(継続有り)	備考欄						
(継続有り)						65%		

事業名	都市公園整備事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	建設水道課長補佐	永井 栄次

令和元年度実施
令和2年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	都市公園の利用者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	都市公園数								
抱える課題やニーズ	都市公園環境(施設の老朽化等)の悪化	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか(意図)	都市公園の利用者が快適で安心して利用できる公園施設を目指す。	① 都市公園数/整備都市公園数の実績	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>2箇所</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>2箇所</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	2箇所	実績値	2箇所	達成度	100.0%
目標年度	令和元年度										
目標値	2箇所										
実績値	2箇所										
達成度	100.0%										
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	都市公園の利用者が快適で安心して利用できる公園施設	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td></td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値		実績値		達成度	
目標年度	令和元年度										
目標値											
実績値											
達成度											
内容(どのような手段で何を行ったか)	民間業者による工事の実施	民間業者の入札により、都市公園の施設更新工事、観賞池の土砂除去工事を行った。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	都市公園の利用者が、快適に安心して利用してもらうことと将来の改築に係るコストの低減を図るためには必要不可欠な事業で、町が担う必要がある。
必要/概ね必要 /課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、都市公園利用者の快適な利用環境の確保が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効 /課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	長寿命化計画に基づき、修繕・更新等を行い、施設の延命を図っていくことは、効率的であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的 /課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	誰もが利用できる公園施設の整備は、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平 /公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
都市公園利用者の憩いの場として安全で快適に利用してもらうためには、長寿命化計画に基づき計画通り事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
都市公園の利用者が安全で快適に利用してもらうため、また、計画的に改築するためにも現状維持が適当である。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

No. 10020040

政策目標	4	【快感を満たす環境のまち・雄武】～生活環境・生活基盤の充実～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ・都市計画図、用途地域図の修正印刷 各50枚(3年/回)
基本施策	16	住環境の整備	事 業 優 先 度		B	
単位施策	3	都市計画・公園・緑地整備の推進	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	雄武町都市計画図修正印刷事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和4年度		担 当 課	10	建設水道課	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	都市計画図・用途地域図修正印刷枚数				#N/A	
事業目標	各50枚(3年/回)		ハート/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
町民参加	無		関 係 例 規 ・ 法 令 名	無		
町民協働	無		関 係 個 別 計 画 名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 30 年度 事 業 内 容	令和 元 年 度 事 業 内 容	令和 2 年 度 事 業 内 容	令和 3 年 度 事 業 内 容	令和 4 年 度 事 業 内 容	
計 画 内 容	・都市計画図修正印刷 ・用途地域図修正印刷			・都市計画図修正印刷～50枚 ・用途地域図修正印刷～50枚		・都市計画図修正印刷～50枚 ・用途地域図修正印刷～50枚	
	計画事業費	事業費(千円) 1,170 財源内訳 国庫支出金 0 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 1,170	0	480	0	690	
実績事業費	事業費(千円) 440 財源内訳 国庫支出金 0 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 440	0	440	0	0	0	
関 連 事 項	特定財源の名称	【評 価 ・ 実 績】	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
				・都市計画図修正印刷～50枚 ・用途地域図修正印刷～50枚			
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
			第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	各50枚	各50枚	
			後期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	92%	38%	0%
		全体達成率	38%	38%	38%		
		備考欄					

事業名	雄武町都市計画図修正印刷事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	建設水道課長補佐	永井 栄次

令和元年度実施
令和2年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町民全般、都市計画業務。	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	修正・印刷枚数	
抱える課題やニーズ	道路・建物等の現状との相違。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか(意図)	現状との相違を解消する。	① 修正・印刷枚数/修正・印刷枚数の実績	目標年度	令和元年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	都市計画業務の向上を図る。		目標値	100枚
			実績値	100枚
			達成度	100.0%
		②	目標年度	令和元年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	
内容(どのような手段で何を行ったか)	民間業者による委託の実施。	民間業者に発注し、修正・印刷業務を行った。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	より正確な現状を反映させるうえで必要であり、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、都市計画業務の向上が図られた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	修正データを有する民間業者に依頼したことにより、事業費の軽減が図られた。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	当該事業は、都市計画業務、道路整備・維持管理業務等、町全般に寄与するものであり、公平であると判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
より正確な現状を反映させるうえで、今後も計画通り事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
都市計画業務の向上を図るうえで、現状維持が適当である。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

No. 10020050

政策目標	4	【快適感を満たす環境のまち・雄武】～生活環境・生活基盤の充実～	会 計 区 分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ・オコツナイ川・ポンオコツナイ川附帯工事及び附帯委託 ・河川公園施設整備 ・北海道との協議 ・検討委員会の開催
基本施策	17	消防・救急・防災体制の強化	事 業 優 先 度		A	
単位施策	1	災害予防対策の強化	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	雄武町都市対策事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和3年度		担 当 課	10	建設水道課	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	整備河川数				#N/A	
事業目標	2河川		ハート／ソフト 事業区分	1	ハード事業	
町民参加	有	川づくり検討会の開催	関 係 例 規 ・ 法 令 名	無		
町民協働			関 係 個 別 計 画 名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平 成 30 年 度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容	
計 画 内 容	・オコツナイ川・ポンオコツナイ川附帯工事及び附帯委託 ・河川公園施設整備 ・北海道との協議 ・検討委員会の開催	・オコツナイ川・ポンオコツナイ川 附帯工事及び附帯委託 (上水道移設) ・北海道との協議 ・検討委員会の開催	・オコツナイ川・ポンオコツナイ川 附帯工事(上水道移設) ・北海道との協議 ・検討委員会の開催	・ポンオコツナイ川附帯工事 (道路整備) ・河川公園施設整備 (ベンチ、四阿、駐車場) ・北海道との協議 ・検討委員会の開催	・河川公園施設整備 (照明、トイレ、桜植樹) ・北海道との協議 ・検討委員会の開催		
	事業費(千円)	179,631	23,011	56,920	54,400	45,300	0
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	42,252	10,875	31,377			
	地方債	39,900		16,000	23,900		
	その他	30,000			30,000		
一般財源	67,479	12,136	9,543	500	45,300		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	77,437	21,145	56,292	0	0	0
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	40,773	10,123	30,650			
	地方債	16,000		16,000			
その他	0						
一般財源	20,664	11,022	9,642				
関 連 事 項	特定財源の名称	【評 価 ・ 実 績】	(実施内容等) ・オコツナイ川・ポンオコツナイ川 附帯工事及び附帯委託 (上水道管撤去、移設、 移設設計) ・北海道との協議 ・検討委員会の開催	(実施内容等) ・オコツナイ川・ポンオコツナイ川 附帯工事(上水道移設) ・北海道との協議 ・検討委員会の開催	(実施内容等)	(実施内容等)	
	・道委託金						
	オコツナイ川・ポンオコツ ナイ川附帯工事委託金						
	・地方債 過疎債 100%						
	・財政調整基金繰入金						
	第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	2河川	2河川	2河川	2河川	
	後期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	92%	99%	0%	0%	#DIV/0!
		全体達成率	12%	43%	43%	43%	43%
		備考欄					

事業名	雄武町都市対策事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	建設水道課長補佐	永井 栄次

令和元年度実施
令和2年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町民・河川	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	整備河川数								
抱える課題やニーズ	河川の氾濫	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか(意図)	安全で災害に強い河川整備を目指す。	① 整備河川数/整備河川数の実績	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>令和元年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>2河川</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>2河川</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	2河川	実績値	2河川	達成度	100.0%
目標年度	令和元年度										
目標値	2河川										
実績値	2河川										
達成度	100.0%										
その結果、どのような成果を實現したいか ※成果=目的	災害に強い河川整備による地域住民の安全確保	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>令和元年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> </tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値		実績値		達成度	
目標年度	令和元年度										
目標値											
実績値											
達成度											
内容(どのような手段で何を行ったか)	北海道との協議、打合せ	オコツナイ川、ポンオコツナイ川に係る河川整備について、網走建設管理部遠軽出張所および興部出張所と協議、打合せを行った。									
	民間業者による工事の実施	民間業者の入札により、オコツナイ川の支障物件移設工事(副道1号橋水道添架)およびポンオコツナイ川の支障物件移設工事(橋梁水道添架)を実施した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	地域住民が安全に暮らせる災害に強い河川整備を行うためには、欠くことのできない事業であり、町が担う必要がある。
必要/概ね必要 /課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、河川整備が円滑に進められる環境が整えられた。
有効/概ね有効 /課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	河川本体整備年次と調整を計りながら、支障物件移設工事を行うことは、河川本体整備を円滑に進めるうえで効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的 /課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	地域住民が安全に暮らせる災害に強い河川整備を行うことは、公平であると判断する。
公平/概ね公平 /公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価(A~D)

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
地域住民が安全に暮らせる災害に強い河川整備を行うためには、欠くことのできない事業であり、今後も計画通り事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
災害に強い河川整備を行い、地域住民の安全を確保するため、継続・現状維持が適当である。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止